

## 抄録

テーマ：「その時」に備える！急性気道感染症の A to Z

### 【目的】

急性気道感染症は、医療・介護現場において最も頻度の高い感染症の一つであり、ひとたび流行すれば組織の機能維持を脅かす要因となる。本研修では、インフルエンザをはじめとする急性気道感染症に対し、現場の職員が「その時」に迷わず動くための具体的な対策を、A から Z までのキーワードを用いて体系的に説明する。

### 【内容】

対策を「基礎知識」「現場対応」「組織・予防」の3フェーズに分類した。

#### 1. 基礎知識（A～I）：病態と感染経路の理解

標準予防策の一つである手指衛生の重要性から、ウイルスの特性と飛沫・接触感染のメカニズムを整理する。インフルエンザの基礎知識を踏まえて説明する。

#### 2. 現場対応（J～R）：感染対策

疑い患者が出た際の判断や、動線分離や隔離の実際について説明している。発症後の拡大防止を考慮した対応と、治療薬への早期アクセスの重要性を説明する。

#### 3. 組織・予防（S～Z）：職員管理と備蓄体制

職員の健康管理や検温記録の徹底、ワクチン接種の推進など、組織としての防御力を高める施策を説明する。また、物資の確保に対しても体制構築を目指す。

### 【結語】

感染対策の成功には、個人のスキルと組織の管理体制が「一貫性」を持って機能することが不可欠である。本研修が、職場内クラスター「ゼロ（Zero）」を目指すための実践的な一助となれば幸いである。